

福岡孝弟 たけふか 政治家。天保六年一月上佐國高知城下生れ。大正八年二月歿（八五—九九）。通稱藤次。號今葉院。南嶺、水萍、水萍處主人。「五箇條の御誓文」起卹の參劃者として有名。吉田東洋の學友。慶應二年參政、藩主山内容堂の意を受け後藤家、郎と共の上洛、徳川慶喜、大政奉還を勸告。明治二年藩權大參事、五年文部大輔、更に司法大輔、七年左院議員、翌年元老院議員、十四年參議兼文部卿となり、小學校教則綱領を出して小學校制度を整備、引續ぎ中學校教則大綱、師範學校教則大綱を發布、文教政策の基礎を固めた。十六年參事院議長に轉じ、翌年子爵、二十四年樞密顧問官。漢詩を能くした。著書の、『水萍實錄』、『水萍實錄別錄』（明治二十二年七月一日水萍處藏版、青山清吉刊）、『明治憲政經濟史論』（他と名を合著、大正八年四月十五日國家學會）等。

